

令和2年度 社会福祉法人淳邦会 事業報告

特別養護老人ホーム のぞみ荘

地域密着型特別養護老人ホーム のぞみ荘

ケアハウス オパール

デイサービスセンター オパール

オパール居宅介護支援事業所

福田高齢者支援サブセンター

グループホーム ひなぎく

育成推進室

令和2年度 事業報告

特別養護老人ホーム のぞみ荘

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

ご利用者それぞれのニーズや課題に沿ったサービス計画を作成し、会議等において各職種及びチームで情報を共有し適切なサービス提供を行った。定期的な検討会だけでなく、リスク委員会、褥瘡委員会の中でも個別の案件を協議した。

また看取り介護についてはコロナウイルス感染対策のため来所による面会ができず電話等の情報共有しかできなかったが、年間5名（退所者8名中）を対応した。年度当初においては短時間または距離を置いての最期の面会を支援することができた例もあった。看取り後もカンファレンスを行い、支援について個別の工夫や課題、反省をするとともに亡くなられたご利用者への想いを共有することでチームケアの大切さや高齢者を介護することについて改めて学んだ。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

コロナウイルス感染対策のため外部団体の活動中止または受入中止となった。

また、コロナウイルス蔓延の影響もあり短期入所の新規受入があまりできず、地域のセーフティネットの役割を十分に果たすことができなかった。

・優秀な福祉人材を育成する

外部の研修等に参加することはできなかったが、WEB研修の導入や委員会研修を中心に継続実施することができた。

退職者（正職員・パート）は3名と少なかったが、内1名は短期間で退職となり新規職員の定着支援が難しい状況である。人事異動による人事交流は職員減少により実施することを見送った。

・人が活きる職場環境を整備する

職場環境の改善策として移乗介助具を導入した。

今年度の正職員採用は4名となったが、人員不足を補うための就職面談会等にも参加が困難で派遣職員に頼る状況が続いた。

・安定した経営を継続する

稼働率は前年度に比べ若干（3%）低下し90.9%（目標の稼働率96%）に留まった。

ショートステイは、稼働率23.1%で、目標の平均稼働率50%を大きく下回る結果となった。

・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

リスク委員会を中心とする虐待防止、身体拘束ゼロ、不適切ケアの防止の取り組み

は安定して活動継続ができています。コロナウイルスによる面会制限の中など特に意識して取り組めた。

消火避難訓練は、法令適用範囲内で行うことができた。また地震災害対応訓練も感染対策に努め計画通りに実施できた。

令和2年度 事業報告

地域密着型特別養護老人ホーム のぞみ荘

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

コロナウイルス感染拡大によって行事や家族地域との新しい結びつきのための取り組みは実施することができなかったが、感染予防対策を行い出来る範囲で行事を行い生活の中の楽しみが継続できる支援を行った。また、面会制限の対応であったが家族との連絡を行い情報共有に努め、長く逢えない家族の気持ちにも寄り添い家族と入居者との橋渡し役を務めた。

看取りについては、利用者家族の意向に出来る範囲で対応し3名（退所者5名中）の看取りを行った。看取り後もカンファレンスを行い、支援についての個別の工夫や課題、反省をするとともに亡くなられたご利用者への想いも共有することでチームケアの大切さや高齢者を介護することについて改めた学んだ。

- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する

今年度の運営推進会議はすべて開催中止となり、情報の共有や交流活動は実施できなかった。

- ・優秀な福祉人材を育成する

外部研修への参加することはできなかったが、WEB研修の導入や委員会研修を中心に継続実施することができた。

人事異動による人事交流は正職員6名の退職より実施を見送った。

- ・人が活きる職場環境を整備する

職場環境の改善策として電動ベッドや移乗補助具を導入した。排泄ケアを見直し、介護負担軽減を図るなど環境の整備を行った。

- ・安定した経営を継続する

定期的な排泄ケアの見直しで適正な資材の使用を意識し効率化と経費削減に努めた。年間の平均稼働率は88.0%と目標の95.5%を下回った。

- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

リスク委員会を中心とする身体拘束廃止、不適切ケア防止の取り組みは安定して継続できている。コロナウイルスによる面会制限の中など特に意識して取り組めた。

消火避難訓練は、法定適用範囲内で行う事ができた。また、地震災害対応訓練も感染対策に努め計画どおりを実施できた。

I 入所者の状況

【入退所状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所者	0	1	0	0	1	3	1	3	1	3	2	1	16
退所者	1	1	1	1	2	4	0	1	0	4	0	2	17

【介護度別入所者延べ人数】

従来型(50)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護3	276	292	283	279	281	367	403	343	354	403	375	414	4070
要介護4	487	475	463	465	496	473	496	510	545	534	504	558	6006
要介護5	494	469	492	495	472	483	496	480	496	470	440	448	5735
稼働率	0.88	0.84	0.87	0.84	0.85	0.92	0.94	0.93	0.94	0.95	0.98	0.96	0.91

地域密着型(20)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	30	30	31	31	28	31	364
要介護3	197	217	210	217	202	204	195	175	155	187	186	279	2424
要介護4	180	198	210	217	208	240	217	131	217	214	196	174	2402
要介護5	124	116	120	124	109	90	93	150	73	62	56	82	1199
稼働率	0.89	0.91	0.95	0.95	0.89	0.94	0.86	0.81	0.77	0.8	0.83	0.91	0.88

注)入所者数は、医療機関への入院者は除く

【要介護度】

令和3年3月31日 現在

	1	2	3	4	5	平均要介護度
従来型	1	1	14	18	15	3.92
ユニット型	0	1	10	5	3	3.53
合計	1	2	24	23	18	3.81

II 短期入所(ショートステイ)の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
利用人数	10	12	10	10	11	15	9	8	13	14	11	12	11.3
利用延べ日数	153	175	160	169	128	151	91	89	135	144	157	145	141.4
人数／1日	5.1	5.65	5.33	5.45	4.13	5.03	2.94	2.97	4.35	4.65	5.61	4.68	4.7
平均介護度	2.30	2.10	2.50	2.50	2.60	2.30	3.30	2.80	2.20	2.50	2.80	2.80	2.56

令和2年度 事業報告

在宅支援部
ケアハウス オパール

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

コロナウイルス感染拡大により外出行事はすべて中止となったが、感染予防に関する内容の勉強会や伝達会を感染対策を実施しながらこまめに行った。また、外出の機会が減少し健康面や精神面に影響が出たため、今の気持ちや健康についての状況把握を普段以上に行い、相談に対応した。

- ・安定した経営を継続する

長期入院者が退去後、次の入居までに期間が空いたことから稼働率は89.3%で前年の2.5%減となった。目標稼働率95%に及ばなかった。

職員の休職に伴う人員不足が生じたため補助金の減額となった。（約100万円）

I 入居者の状況

【入居状況】 延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男 性	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
女 性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
合 計	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3

【退居状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男 性	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
女 性	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
合 計	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3

【年齢構成】 令和3年3月31日 現在

年 齢	60～70歳	71歳～80歳	81歳～90歳	91歳以上	合 計
人 数	0	2	9	2	13

II 介護状況

【要介護度】 令和3年3月31日 現在

介護度	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人 数	2	1	0	6	3	1	0	0	13

【介護サービス利用状況】 令和3年3月31日 現在

介護サービス	ホームヘルプサービス			デイサービス	デイケア	福祉用具 レンタル	訪問看護
	生活援助	身体介護	介護タクシー				
利用人数	8	2	5	5	3	9	3

令和2年度 事業報告

在宅支援部
デイサービスセンター オパール

- ・ **利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する**

ご利用者の在宅生活を継続するためのサービス支援を行うという目標に対し、定期的に支援計画を見直しサービスにつなげることができた。

個別機能訓練は年度後半の職員数減少により実施できなかった。しかし集団での体操やレクリエーションを継続することで活動時間を確保した。

コロナウイルス感染拡大に伴い、訓練室へのアクリル板の設置やソーシャルディスタンスの確保の他、特にリスクの高い在宅生活における手洗い・うがいの習慣化など注意喚起を継続し感染予防支援を行った。

- ・ **地域福祉の拠点となる活動を実施する**

法人が実施する公益的な取組、特に地域との交流行事などはコロナウイルス感染拡大のため中止となり参加できなかった。

- ・ **優秀な福祉人材を育成する**

個別ケアの実践についてコロナウイルス感染拡大のため研修等には参加できなかったが支援計画の見直しを行った。

- ・ **安定した経営を継続する**

今年度の稼働率は43.1%と目標の60%に大きく及ばなかった。コロナウイルス感染拡大による利用中止も原因の一つであるが、競争の激化や営業活動機会の減少などによる登録利用者数や利用回数の伸び悩みが原因と思われる。

- ・ **業務管理体制（法令等遵守）を徹底する**

昨年度に比べ事故は減少したが、ひやりはっとの活用、不適切ケア防止の取り組み、記録の見直し等は十分に行うことができなかった。

I 利用者の状況

【利用状況】 延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	111	87	106	105	110	76	81	104	109	86	67	75	1117
要介護2	114	128	110	103	89	107	108	88	91	92	90	99	1219
要介護3	33	44	47	48	38	32	36	32	32	28	16	16	402
要介護4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
要介護5	0	0	7	5	0	0	9	12	13	8	0	0	54
合 計	258	259	270	261	237	217	234	236	245	214	173	190	2794
営業日数	22	21	22	23	21	22	22	21	22	20	20	23	259

【年齢構成】 令和3年3月31日 現在

年 齢	40～64歳	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合計
人 数	0	3	1	11	4	19

【要介護度】 令和3年3月31日 現在

介護度	要支援1	要支援2				
人 数	0	0				
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人 数	8	8	3	0	0	19

令和2年度 事業報告

在宅支援部
オパール居宅介護支援事業所

- ・ **利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する**

利用者が入院した場合はほぼ全ての事例で病院へ情報提供をおこなう事により、在宅での生活状況を共有し円滑な在宅復帰へつなげる事ができた。令和3年度も継続しておこなっていく。

- ・ **地域福祉の拠点となる活動を実施する**

新型コロナウイルスのまん延により出前・出張講座はおこなっていない。従来のやり方で地域に出ていくのは難しいと思われるため、域住民の意向も確認しながら感染対策を徹底して実施できないか検討を続ける。

- ・ **人が活きる職場環境を整備する**

新型コロナウイルスのまん延により研修の開催数は減っていたが10回以上の参加はできている。

- ・ **安定した経営を継続する**

新規受け入れは柔軟に対応し、年間の稼働率が77.3%と目標を越えた。令和3年度も継続して柔軟に対応していく。

I 利用者の状況

【年齢構成】 令和3年3月31日 現在

年 齢	～64歳	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合 計
人 数	0	4	3	18	9	34

【要介護度】 令和3年3月31日 現在

介護度	介護予防	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人 数	14	12	16	5	1	0	48

【月別利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護給付	48	48	47	46	47	42	42	43	42	41	34	33	513
介護予防	10	13	13	13	13	13	13	13	14	11	11	11	148
総合事業	5	4	4	3	4	4	4	4	4	3	3	3	45
計	63	65	64	62	64	59	59	60	60	55	48	47	706

II サービス利用状況

令和3年3月31日 現在

種 類	訪問介護	通所介護	短期入所	福祉用具貸与	その他	合 計
人 数	9	14	4	24	25	76
うち淳邦会利用		7	2			9

令和2年度 事業報告

在宅支援部
福田高齢者支援サブセンター

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

今年度は、新型コロナウイルスの流行により、地域のサロン活動や集まりが中止になった時期もあり、「介護保険の利用を考えてみようか」「外に出ることが少なくなった」という声が昨年度よりも多かったように思われる。高齢者が地域でどう生活を続けていきたいかという思いを聞き取ったうえで、介護保険や社会資源の利用や情報の提供が行えるよう努めたい。

- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する

新型コロナウイルスの流行により高齢者支援センター主催の移動相談会や毎年参加していた他の団体の開催する行事自体もほぼ中止や規模の縮小され、外にPRに出る機会もかなり少ない年度となった。オンラインで開催された会議もあり情報共有はできたと思うが、意見交換という点からみると難しいと感じた。来年度は感染対策を取れば以前のように顔を合わせて話ができるような状況になり、外に出での活動が再開できればと願っている。

I 総合相談事業等実績報告

		電話	来所	訪問	その他	合計
介護予防事業		0	0	0	0	0
総合事業		0	0	0	0	0
予防給付		0	0	0	0	0
権利擁護		0	0	0	0	0
高齢者虐待	身体的	0	0	0	0	0
	経済的	0	0	0	0	0
	精神的	0	0	0	0	0
	性的	0	0	0	0	0
	介護放棄	0	0	0	0	0
福祉相談・手続代行		28	0	35	0	63
介護保険・手続き代行		9	0	7	0	16
健康・医療		22	0	33	0	55
高齢者以外を対象		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
合 計		59	0	75	0	134

令和2年度 事業報告

在宅支援部
グループホーム ひなぎく

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

利用者の日々の暮らしが穏やかに送れるよう、生活リズムを安定し、コロナウイルスの感染予防に努めた。面会、外出が困難なため、利用者の嗜好や能力に応じた室内で可能な行事、レクリエーション、壁面、家庭菜園など生活の楽しみや役割がもてるように力を入れた。体調維持、食の楽しみのために季節の食材を取り入れた献立にした。

- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する

新型コロナウイルスの影響により、施設内で実施している運営推進会議や消防訓練は計画どおりできなかつたため地域とのつながりの機会がもてなかつた。感染症対策に努めながら可能な限り実習生の受け入れをした。

- ・優秀な福祉人材を育成する

施設外研修は参加できないが2か月に1度定期的を開催する身体拘束・虐待防止の勉強会などで身近な課題を取り上げ、研修を行った。

- ・安定した経営を継続する

退居後には、直ちに次の入居が出来るよう他部署との連携を図り、稼働率は常に93%を維持できた。食材選びや節電に努めるなどして、経費削減を進めた。

- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

業務連絡ノート等を活用し、突発な事故が起きた際にも、問題を共有することで管理体制の強化を行った。

I 入居者の状況

【入居状況】 延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	68	93	90	93	90	90	93	90	108	124	128	155	1222
要介護2	210	217	210	217	248	246	248	240	248	231	196	239	2750
要介護3	180	174	150	155	155	168	186	177	167	155	140	134	1941
要介護4	60	62	60	62	55	23	0	0	0	0	0	0	322
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	518	546	510	527	548	527	527	507	523	510	464	528	6235
人数／日	17.2	17.6	17.0	17.0	17.6	17.5	17.0	16.9	16.8	17.0	16.5	17.0	205.1

注)入居者数は、医療機関への入院者は除く

【要介護度】 令和3年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均要介護度
人 数	5	8	5	0	0	2.00

【年齢構成】 令和3年3月31日 現在

年 齢	65～79歳	80～89歳	90歳以上	合計
人 数	2	9	7	18

令和2年度 事業報告

育成推進室

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

各事業所、委員会を中心に課題を抽出し、日々の申し送り、ミーティング等で質の高いケアを提供するために検討した。正職員の割合が低いことから職員個々の負担増、新規職員への伝達等が課題として挙げられる。

- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する

コロナウイルスの影響で毎年行ってきた地域との交流イベント「ふくふく堂」は中止となった。コロナ禍のなか、倉敷市社会福祉協議会と共に手作りマスク作りの活動を始め、地域を支える方々と顔の見える関係作りを行い、地域で支え合う活動を行うことで「淳邦会」を地域の方々に認識してもらうことが出来た。

- ・優秀な福祉人材を育成する

施設外研修への参加が難しいなか、外部講師を招いて施設内研修を行った。「看取りケア」「高齢者虐待」「家族へのケア」「連携・コミュニケーション」「役職研修」それぞれのテーマごとに専門の外部講師を招き、学ぶことで共通理解を得ることが出来た。

- ・人が活きる職場環境を整備する

職員減少により職員の負担が増加する状況であった。必要とする人材を確保し、やりがいを持てる職場環境作りを進めたが、正規職員の採用に課題を残した。

- ・安定した経営を継続する

職員の退職を防ぐと共にホームページ、SNS を活用した情報の発信、外国人介護士の受け入れの検討等、採用につながる新たな働きかけを行い、引き続き安定した経営に務めた。

- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

職員一人ひとりが自らの役割を担ううえで把握しておくべき法令を理解することを目指し、多方面から情報を収集し、伝達、共有することを心掛けた。